

## はじめに

「歴史は変わる」というと奇妙な感じがするが、歴史とは現在と過去との対話であり、その解釈は変わっていくものである。本書では、第一章で国境地帯、第二章でカトリック教会、第三章で移民排斥、第四章で人種とスポーツ、第五章で公衆衛生行政、第六章でアメリカ個人主義、第七章でアメリカ映画をケーススタディとして扱っている。各章の執筆者は専門分野の諸学説をある程度詳細に紹介した上で、新しい見解を提示し、歴史を変えようと試みている。執筆者はアメリカ研究の各々の人文系専門分野において最先端でご活躍しておられ、卓越した研究業績をお持ちの専門家であり、その内容は信頼のおけるものである。なお、本書の企画・刊行にあたっては、アメリカ大使館文化交流部から助成金をいただいた。記して感謝申し上げます。また、本書の出版の機会を与えていただいた大学教育出版の佐藤守社長およびいつもの確かな編集作業をして下さる編集部のスタッフにお礼申し上げます。

二〇一四年九月吉日

杉田米行



アメリカ観の変遷 上巻  
〔人文系〕

目次

はじめに……………杉田米行……………i

第一章 国境地帯から考えるアメリカ合衆国——ボーダーランズにおける新しい共同性と表現方法について……………

井村俊義……………1

はじめに……………1

1 国家原理の再考と国境地帯……………2

2 チカーノによる歴史の捉え方と表現方法……………3

3 境界線の属性が作り出すアメリカ合衆国……………5

4 遍在するボーダーランズ……………7

5 詩という特権的な表現形式……………8

6 物質が喚起する想像力……………10

おわりに……………12

第二章 移民の教会としてのカトリック——非WASP社会の形成とその社会的上昇……………山崎由紀……………14

はじめに……………14

1 アメリカ合衆国におけるアングロ・カトリックの起源……………18

2 建国期アメリカにおけるカトリック教会——二つの潮流……………21

3 「移民の教会」のはじまり——旧移民の到来……………24

4 ネイティブイズムの標的——「新移民」の到来……………32

5 「アメリカニズム」論争の顛末——保守化するアメリカ・カトリック  
おわりに 39

第三章 移民排斥と出生地主義——理念と主権のあいだ……………大井由紀……………45

はじめに 45

1 アメリカ合衆国における出生地主義 47

2 「シテイズンシップ」へのアプローチ 51

3 出生地主義と中国系移民 53

おわりに 59

第四章 人種とスポーツ——アメリカンフットボール映画のなかのヒップホップ世代……………川村亜樹……………66

はじめに 66

1 遺伝学とアメリカ・スポーツ史からみた人種 68

2 『タイタンズを忘れない』——「白人」の自己犠牲と人種的多様性 74

3 『プライド——栄光への絆』——反動、再モンスタ化する「黒人」 78

4 『しあわせの隠れ場所』——サグとの決別 82

おわりに 85

第五章	近代衛生知・比較・広報——ノースカロライナ州公衆衛生局長ワトソン・ランキンと二〇世紀初頭の非都市部公衆衛生行政………	平体由美…	90
	はじめに		90
	1 研究史の展望		93
	2 地元医の活動と限界——初期ノースカロライナ州公衆衛生行政		98
	3 外部団体の利用——ランキンとロックフェラー財団		104
	おわりに		111
第六章	アメリカ個人主義の変容——伝統と近代の相克………	中村義実…	116
	はじめに		116
	1 植民地としての始動と「アメリカ神話」		117
	2 ヨーロッパ精神の継承と「アメリカ革命」		120
	3 トクヴィルの予言と「近代的個人主義」		123
	4 産業化の進展と「レッセフェール個人主義」		127
	おわりに		131
第七章	プロダクション・コードの性 <sup>ポリティクス</sup> ／政治学——ジェンダー、幽閉、『サンセット大通り』………	塚田幸光…	135
	はじめに		135
	1 コードとは何か——「芸術」のリミット、グローバルな「商品」		136

2	コードとジェンダー——コードの検証	138
3	プールに浮かぶ死体——『サンセット大通り』オープニング	140
4	モンキー・オン・ザ・ベッド——幽閉とジェンダー	141
5	映画とは何か——自己批判としてのハリウッド	145
6	コードとノワール——ハリウッドの「闇」	148
	おわりに	150

執筆者紹介……

